

自治の力を育む福祉教育の実践

米子市立福米中学校

1. 本校の教育目標

自他の命を大切にし、知・徳・体・勤労の調和のとれた人間の育成をめざすとともに、自治の力を育み、活気ある校風を創造する。

2. 本校の福祉教育の目標

学校での美化活動やV S活動（ボランティア活動）、交流学习など、発達段階に応じた様々な実践活動を通して、協力や奉仕の態度、実践力の育成に努める。

＜指導の方針＞

- ・求められる背景、意義を全職員で共通理解する。
- ・家庭や地域社会との連携を図りながら、教育活動全体を通じて組織的・継続的に指導する。
- ・地域の実態、生徒の発達段階を考慮する。
- ・勤労体験、奉仕活動など体験的な学習を取り入れ、実践する。
- ・活動は計画的に、無理なく、継続的なものにする。
- ・学校行事や生徒会行事との関連を図る。

3. 実践の報告

(1) 募金活動

☆緑の募金（5月）・赤い羽根共同募金（11月）

環境福祉委員が玄関前・教室にて、募金の協力を呼びかけた。

☆学校緑化（11月）

緑の募金による学校への還付金でパンジーやビオラなどの花の苗を購入し、季節の花を植え学校玄関前の緑化に取り組んだ。苗植えの作業は環境福祉委員を中心に行った。



(2) VS 活動 (10月)

地域の方々、福米東・西小学校の6年生と本校1年生で中学校区内の公園や広場、海岸の清掃を行った。ごみ拾いや雑草処理などの清掃活動に取り組んだ。



(3) ペットボトルキャップの回収 (毎月)

毎月、ペットボトルキャップ回収を行った。透明な箱を設置することで、どのくらいキャップが集まっているか見えやすい。



(4) 書き損じはがきの回収

地雷撤去活動に貢献できるように、各クラスで環境福祉委員が書き損じはがきの回収を呼びかけた。

4. おわりに

今年度は学級で募金の呼びかけを行うことで、各委員が積極的に声かけに取り組むことができた。また緑化活動において、環境福祉委員のみならず自主的に活動に参加する生徒が多く、学校美化に意欲的に取り組んでいた。VS 活動で地域の方々と交流を深めるとともに、美しい地域を守ることの大切さを学び、環境美化に対する意識を高めていた。

今後は、これらの活動が形骸化することなく、継続的な活動にし、生徒の自主的で主体的な活動にしていかななくてはならない。これからも地域との交流を深めながら、生徒たちの自治の力を高め、自ら考え、実践する力の育成を目指したい。